

「国有林材の安定供給システム販売(素材)」の結果公表

平成29年6月19日に公告しました「国有林材の安定供給システム販売(素材)」について、「申請書」及び「企画提案書」等を審査した結果、下記のとおり決定しましたので公表します。

記

1 システム販売の目的

一定の要件を満たす工場等と近畿中国森林管理局長が国有林材の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づき計画的な販売を実施することにより、国有林材の需要、販路の確保・拡大を図り、併せて地域における中核的な素材流通・製材の担い手の育成、流域管理システムの推進等に資することを目的とし、山元において販売するものです。

また、民有林材と国有林材をあわせた国産材の自給率アップに向けて、原木市場でB材・C材といわれる一般材及び低質材の利用・販路の確保等への取組を支援しています。

2 応募状況及び審査内容

(1) 応募状況

番号	関係森林管理署等	公募内容		応募件数	備考
		樹材種	数量(m ³)		
43	和歌山	スギ・ヒノキ	980	2	
44	鳥取	スギ	1,310	2	
45	岡山	スギ	2,840	2	
46	岡山	公募取り止め			3年協定
47	岡山	公募取り止め			3年協定
48	和歌山	原料材N	570	1	
49	鳥取	原料材N	910	2	
50	岡山	公募取り止め			3年協定

(2) 審査内容

企画提案書等の内容が、①システム販売の対象となる需要者の要件を満たしているか(必須項目)、②企画提案する取組の7項目から取組内容が具体的に記載されており数量的指標が記載されているか、③山元購入単価等の提案内容について、審査しました。

3 審査結果

番号	協定締結者	企画提案の概要	
		企画提案する取組	山元購入希望価格 スギ・ヒノキ(円/m ³) 原料材N・L(円/t)
43	奈良県桜井市大字戒重137番地 西垣林業株式会社 代表取締役 西垣 泰幸	<ul style="list-style-type: none"> 本社のある近畿、中部地区を中心に、四国や北関東にも事業所があることから広範囲に及ぶ流通ネットワークが構築できており、原木及び製品の往復便を利用することで、本来であれば難しい広域へのローコスト輸送を可能としている。 F/Jを活用することで、本来では利用価値の低い曲材や紀伊半島において深刻な虫害木(アカネ材/アリクイ材)に対し、集材材としての付加価値を見出し、ハウスマーカーに供給している。また、木皮・端材を乾燥用ボイラーの熱源利用等、原木に対し高い資源活用性を見出している。 原木素材だけでなく製品に関しても同様に地域材の利用拡大に努めており、奈良県だけでなく三重県・京都府・愛知県の認定工場として実績を残している。 素材生産者育成に積極的に取り組んでおり、桜井本社2班(6名)、茨城事業所1班(5名)、四国事業所3班(12名)での安定・効率的な素材生産の促進を図っている。 	平均単価 スギ 6,393円 ヒノキ 8,503円
44	鳥取県鳥取市気高町宝木1562-31 株式会社 エコ開発 代表取締役 荒川 正臣	<ul style="list-style-type: none"> システム販売で購入する事により、短期で集材が可能になり輸出経費が軽減される。 新しい取引先(特殊な製品)の製材所を開拓し檜C材を販売出来る様になった。 取引先が増えた事により、m3単価を多少高く設定し販売出来、その分買取価格に還元出来る様になった。 	平均単価 スギ 6,000円
45	兵庫県宍粟市一宮町安積字丸山217-20 協同組合 兵庫木材センター 代表理事 八木 数也	<ul style="list-style-type: none"> 組合員により年間約70,000m³の原木を生産している。また、施設の経営を統合することにより、木材市場と製材所、製材所と製品市場(問屋)間の輸送コスト及び手数料の縮減を達成している。そして、生産された原木は、買取から製品製造・加工・販売までを一貫して行い、さらに流通コストの縮減を図っている。 増加する大径木丸太や長尺材を利用するために、最長6m・最大径1.1mの原木を製材できる設備により、取引先の求める多種多様なニーズに対応して製材をすることにより原木の付加価値を高めている。 製材加工をする前に自動でミリ単位による径級測定と3Dによる形状測定をして、原木に対して最大限の有効な木取りを選択することにより、製品の効率的な生産を行っている。 地元小学生や県内の中・高校生による工場見学などを通じて、未来を担う子どもたちの支援を行い、さらに地元自治会の清掃活動及び行事にも参加し、地域の環境美化に貢献する。 	平均単価 スギ 7,434円
48	和歌山県田辺市新庄町2070-3 株式会社 井裕林産 代表取締役 井裕 啓次	<ul style="list-style-type: none"> 製品化されたチップの輸送を船舶による海上輸送することで、輸送コストがトラック輸送の三分の一以下で済むという大きなコストの縮減が図れる。 自社が確立した長さの決まっていない材を完全剥皮しチップングする技術で、樹皮混入率約0%の木質のみの最上級のMDF用チップを生産する。また、ふるいわけられたダストやおがくずは食品会社の燃料、剥皮された樹皮は畜産業者の敷料や農家の堆肥の原料として有効利用する。 年間2万トンの林地残材等を安定的に集荷し、MDF用やバイオマス発電用にチップ加工をしている。また、MDFの原料は主に外材チップを使用していたが、それを国産材に転換してもらい、納入先のMDF工場の国産材針葉樹チップの使用比率が70%を超えるようになった。 地域の林業災害防止協会や県の依頼を受け、各種国家試験や技能講習・安全講習、林業大学の講師を務めている。 	平均単価 原料材N 4,500円 原料材L 4,500円
49	島根県松江市西津田1丁目2番14号 山陰丸和林業株式会社 代表取締役 北岡 幸一	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県、岡山県、島根県に工場及び貯木場があることを活かし、最寄りの集積場に集荷することで、原木集荷にかかわる流通コストを低減する。また、自社車両を多く保有することで、流通工程の無駄を縮減させる。 チップ等を製紙用、バイオマス燃料用、きのこ栽培用、堆肥用等多種多様にわたり製造すること、自社の山林伐出班を有することで、森林から搬出された原木・枝葉を余すことなく利用する。 木材を多種多様に余すことなく利用し安定的に原木が集荷できることで、地域の林産も安定させ地産地消に貢献する。 	平均単価 原料材N 3,200円 原料材L 3,500円